

事業 1	方針等 区分	(方針1) 次代を担う有能な人材の確保と技術等の向上 (施策1) 地域における人材確保への支援		平成24年度			
	事業名	企業と大学等との就職に関する情報 交換の促進		予算額	515	298千円	
				決算額		136千円	
	事業概要	県内外の大学等(短大・専門学校を 含む)と市内の事業所が、採用情報 等について情報交換を行う場を設け 地域の産業の人材確保に向けた支援 を促進します。		取 組 状 況 (9/1現在)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■日程 平成25年1月31日(木)</li> <li>■会場 グランシップ</li> <li>■対象 企業の人事担当者と県内外の大学・短大・専門学校の 就職指導者</li> <li>■その他の予定 <ul style="list-style-type: none"> <li>10月 公共職業安定所(静岡・清水)と商工会議所の担当者 打合せ</li> <li>11月 企業、大学へ交流会参加依頼の通知(予定1,000件)</li> <li>12月 参加企業、大学の確定、プロフィール作成依頼</li> <li>1月 参加企業、大学へ資料送付 (予定企業数80社、大学数70校)</li> <li>1月 交流会実施</li> <li>2月 アンケート実施及び来年度に向けた検討</li> </ul> </li> <li>■予算額 <ul style="list-style-type: none"> <li>講師謝金60,000円、茶菓代40,000千円、 郵便料80,000円、看板代・会場設営・撤去費62,000円、 会場借上料等56,000円</li> </ul> </li> </ul>		
		補 足 事 項	大学3年生の就職活動のスタートが 12月となったことにより、静岡県で は11月、本市では1月に本交流会を 開催する。就職活動開始前後に開催 することで、ニーズの異なる企業、 大学等の参加が見込まれる。		進 捗 率	9月1日 現在	(参加大学等) 0校 (参加企業等) 0社 0 (%)
	成 果 目 標	参加者 大学等 180校/3年 企業等 240社/3年		3月31日 現在	(参加大学等) 42校 (参加企業等) 53社 23.3 (%) 22.1 (%)		
	総合計画 の 位置付け (分野別) IV産業 ・経済	政 策 方 針	5 すぐれた能力と意欲ある人材 の育成・支援		事 業 評 価	事 業 結 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>■目 的 学生と企業の「就職・雇用のミスマッチ」を解消するため 大学等の就職指導者と企業の人事担当者ととの情報交換・意 見交換を実施することにより、平成26年3月卒業の学生の 就職促進を図る。</li> <li>■日 時 平成25年1月31日(木)午後2時から午後4時まで</li> <li>■会 場 グランシップ</li> <li>■参加者 ①県内外の大学・短大・専門学校の就職指導者 42校50人 ②静岡市内に所在する企業の人事担当者 53社71人</li> <li>■内 容 大学等の就職指導者と企業の人事担当者のそれぞれのブー スを設け互いに訪問することによる情報交換と意見交換を 実施した。</li> </ul>
		大 施 策	(2) 意欲ある人材の地域における 就業支援				
		中 施 策	①企業と人材のマッチング				
	産 業 振 興 プ ラ ン の 位 置 付 け	基 本 方 向	4 チャレンジ精神に富む人材・ 企業の輩出、育成		次 年 度 に 向 け た 改 善 点 ・ 目 標 の 未 達 成 理 由 等	平成24年度は、大学等58校、企業75社が参加したが、 本年度は一般企業(10月)及び静岡県(11月)が同様の 交流会を実施したため参加数が減少した。 次年度以降は、アンケート結果を反映して、県内外大学等へ のPR、対象企業の範囲拡大などを図ることによって、目標 を達成していきたい。	
基 本 方 針		(4) 次代を担う人づくり					
基 本 施 策		②職業人としての意識・能力の涵養					
担 当 課 等	経済局商工部 商業労政課 雇用労働政策担当		そ の 他 (特 記 事 項)	公共職業安定所(ハローワーク静岡・清水)及び静岡商工会 議所と共催する事業である。			

事業	方針等区分	(方針1) 次代を担う有能な人材の確保と技術等の向上 (施策1) 地域における人材確保への支援		平成24年度		
	事業名	(仮) 経営者と大学生の縁結び事業の推進		予算額	615千円	
				決算額	609千円	
	事業概要	優秀な人材を確保するために、経営者等が大学3年生等に直接、地域の産業の魅力を伝える就職支援策を推進します。		取組状況 現況 (9/1現在)	【今後の予定】 1 対象 ①静岡市内の中小企業で、リクルート力向上のため、地域産業の魅力を積極的に伝えることができる企業 ②大学3年生等 2 内容 ①静岡市の産業の歴史、成長性、取組などの紹介 ②企業が求める人材とは ③各企業からの情報発信 ④企業と学生の交流 3 実施期間 9月～2月 4 予算額 委託料615,000円	
		補足事項	市内の中小企業経営者や人事担当者や大学生等が情報交換するセミナーを年3回開催する。 ・参加企業 3社×3 ・参加学生(定員)40人×3		進捗率	9月1日現在 (参加者数) 0(%)
	成果目標	参加者 360人/3年		3月31日現在 (参加者数) 140人	38.9(%)	
	総合計画の位置付け (分野別) IV産業・経済	政策方針	5 すぐれた能力と意欲ある人材の育成・支援		事業結果	<b>■企業と学生の縁結び事業</b> <input type="checkbox"/> 第1回(11月17日) テーマ:ユニークな経営者や凄い社員と話をしよう!! 参加者:企業4社、学生13人 <input type="checkbox"/> 第2回(11月24日) テーマ:静岡の「観光」と「食」で人口を増やす!? 参加者:企業4社、学生24人 <input type="checkbox"/> 第3回(12月8日) テーマ:ホビーのまち静岡のプラモデル企業大集合!! 参加者:企業8社、学生26人  <b>■中小企業人材マッチング支援事業</b> <input type="checkbox"/> 第1回(1月26日) テーマ:働くって何? 参加者:企業9社、学生30人 <input type="checkbox"/> 第2回(2月23日予定) テーマ:採用される人とそうでない人の違い!? 参加者:企業7社、学生27人 <input type="checkbox"/> 第3回(3月2日予定) テーマ:中小企業の魅力はズバリこれだ!! 参加者:企業9社、学生20人
		大施策	(2) 意欲ある人材の地域における就業支援			
		中施策	①企業と人材のマッチング			
	産業振興プランの位置付け	基本方針	4 チャレンジ精神に富む人材・企業の輩出、育成		事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等  企業と学生の交流会のほか、学生を対象とした企業見学や職場体験の機会を充実させ、職業意識の醸成を図っていく。
基本方針		(4) 次代を担う人づくり				
基本施策		②職業人としての意識・能力の涵養				
担当課等	経済局商工部 商業労政課 雇用労働政策担当		その他 (特記事項)			

事業 3	方針等 区分	(方針1) 次代を担う有能な人材の確保と技術等の向上 (施策1) 地域における人材確保への支援		平成24年度			
	事業名	定年延長を見越した中高年技術研修 の検討		予算額	0千円		
				決算額	0千円		
	事業概要	セカンドライフの充実に向けて、中高年 技術者等のニーズに基づいた技術や技能の 向上に関する研修会開催を検討します。 (若年層の育成や中小企業の技術力向上等 を含む)		取 組 状 況  現 況 (9/1現在)	◆9月1日現在、特に進捗なし ◆今後の予定 中高年技術者等を主体とした研修会や意見交流会などを、 より効率的、効果的に展開するため、他都市等の情報を収集し、 課題や問題点を整理するなど、以下のとおり検討を進める予定 です。 ①他都市事例の情報収集 支援策一覧、平成24年度予算額、事業の効果、事業の課題、 今後の方針等 ②情報収集した他都市事例に見る課題の整理 ③静岡市の中小事業者に関する現状の整理 ④他都市の事例、静岡市の現状から最適施策の検討 ・さまざまな分野に及ぶ中小事業者が求める技術等の把握 (リサーチ方法等) ・研修機会等への参加者及び協力者の把握 (製造分野や年齢層を含めて) ⑤市内中小事業者の実態やニーズの把握に加え、静岡商工会 議所製造業部会等の中小事業者関連団体との連携模索		
					補 足 事 項		進 捗 率
	3月31日 現在	(参加者数) 0人 0(%)					
	成果目標	参加者 30人/3年		事 業 結 果	◆ものづくり産業振興技術者養成施策に関する調査を実施した ○政令指定都市 19市、金沢市、東京都台東区ほか6市区 ○調査内容 ①当事業と同一内容又は相当する事業の有無と事業名、 ②事業に係るホームページURL ③事業内容 ④平成24年度予算額 ⑤事業成果 ⑥事業の課題 ⑦教育機関との連携状況 ⑧今後の方針 ○同内容の事業、又は相当する事業を実施していた都市1市  ◆商工会議所や関係団体等から異業種交流に係る施策について 情報収集を行った。(2~3月)		
	総合計画 の 位置付け (分野別)	政策 方針			事 業 評 価 等  (事務担当 記載項目)  所属部会 からの 意見及び 指摘事項		
		大 施 策					
		中 施 策					
産業振興 の プラン 位置付け	基本 方 向		事 業 評 価 等  (事務担当 記載項目)  所属部会 からの 意見及び 指摘事項	◆セカンドライフという表現は、定年後、新たに技術を習得し、 再チャレンジするという感じがする。 現実には、定年延長時代を見据え、定年前に習得した技能を基本としながら もプラス時代のニーズに即した技能の習得伝承に向けての指導により長期的な 仕事、雇用の場をつくるのがテーマである。			
	基本 方 針						
	基本 施 策						
所属部会	■技術者養成部会 部会員 ものづくり審議会委員3人 ■事務担当 地場産業担当		事 業 評 価 等  (事務担当 記載項目)  改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	◆中高年の技術力の活用について、重要性を認識しつつも、多くの政令指定都市でも 施策を実施していくことが難しいことがうかがえた。静岡市で想定していた研修「中高年 技術者等を主体とした研修会や意見交流会の開催。具体的には、市内事業所から参加を 募り、異業種交流会を設定。異業種交流会では、定期的な研修会・意見交流会の開催、 自社の製品、技術課題、経営課題等の発表及び意見交換、工場見学などを実施する」 に向けて、静岡市における実態やニーズの把握を十分に行い、市内関係団体との情報 交換を行っていく。			
担当課等	経済局商工部 地域産業課 地場産業担当						

事業 4	方針等 区分	(方針1)次代を担う有能な人材の確保と技術等の向上 (施策1)地域における人材確保への支援		平成24年度				
	事業名	理工系大学の誘致及び市内の既存 大学における工学部新設の検討		予算額	0千円			
				決算額	0千円			
	事業概要	<p>市内外から優秀な人材を確保し、これらの人材の市内ものづくり産業への就業を促進させる観点から、市内に理工系大学を誘致することなどを検討する。</p> <p>理工系大学等は、新製品や加工技術の研究開発のほか、優れた人材を育成し、市内の中小製造事業所への人材供給機関として、その役割に大きな期待が寄せられる。併せて大学の教授陣と地元就業した卒業生との間における「人的ネットワーク」の形成からは、信頼関係のもとで、製品開発などに新たな事業展開の示唆を含めた支援・相談・共助機関としての役割にも期待が持てる。</p> <p>現在のところ、このような理工系大学等は静岡市になく、今後のものづくり産業（製造業）の振興を図る上では、極めて重要な視点であり、誘致等を検討する必要性から事業化された経緯がある。</p>		取 組 状 況	現 況 (9/1現在)	<p>◆理工系大学の大学運営に関する聞き取り 本事業の検討を進めるにあたり、二波部会長からご紹介をいただいた県内工学系大学を訪問し、学長等から大学経営の将来構想に関する情報提供をいただいた。</p> <p>①日 時 9月3日(月)14:00~15:30 ②対 象 県内工学系大学 ③開取者 地域産業課 三輪課長、産業経営担当 佐藤 ④概 要 事業概要書記載のとおり ・大学の概略 ・大学の将来構想 ・静岡市内への進出 ・ものづくり産業への支援と航空宇宙産業への着目 ⑥所 感 事業概要書記載のとおり ・長期にわたる対応の必要性 ・静岡市内の機能拡充策</p>		
						進 捗 率	9月1日 現在	0
							3月31日 現在	0
	成果目標	3年間検討し、関係機関等との協議を含めた報告書を作成		事 業 結 果	<p>■関係機関の訪問 本事業の推進に向けて、9月以降、大学運営本部等を訪問し、ものづくり基本計画の策定や事業の趣旨等の説明に費やした。また、今年度は今後の事業展開を踏まえ、継続的かつ具体的な取り組みの模索を含めた関係構築の足掛かりを得るための準備期間とすることができた。</p> <p>■訪問先等 ・県内工学系大学 平成24年 9月 3日 学長訪問 " 11月15日 大学運営本部訪問 平成25年 1月23日 " ・県内大学 平成24年12月25日 学長訪問 平成25年 1月16日 同大学産学連携機構訪問 " 1月22日 学長訪問</p>			
	総合計画 の 位置付け (分野別)	政策 方針	事 業 評 価 等			<p>(事務担当 記載項目) 所属部会 からの 意見及び 指摘事項</p>		
		大 施 策						
		中 施 策						
産業振興 のプラン 位置付け	基本 方向	<p>■関連機関との関係構築 静岡市周辺を含む大学等の研究機関との連携を図り、本事業の進展に向けて、継続的かつ有意義な関係構築に努めてほしい。理工系学部の誘致等は簡単に進められるものではなく、市、大学等の研究機関、地元企業等との信頼性に富む創発的な関係基盤による静岡市ならではの人的ネットワークへの形成を示唆するものと捉え、今後の業務を進めてほしい。</p>						
	基本 方針							
	基本 施策							
所属部会	<p>■調査研究部会 部会員 ものづくり審議会委員3人 ■事務担当 産業経営担当</p>		<p>(事業担当 記載事項) 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等</p>	<p>■他事業との連携 本事業の進展にあたり、特に「事業21大学等研究機関への相談機会の拡充」を推進し、上記に掲げた大学の相談窓口へ具体的に働きかけを通じて、関係構築を促進させることを改善点とする。 来年度においては、理工系学部の誘致を念頭に置つつも、具体的な進捗を図る必要があることから、静岡商工会議所製造業部会、県内大学産学連携機構、そして、地域産業課の三者による事業の進展を試みる必要がある。</p>				
事業 担当課等	<p>経済局商工部 地域産業課 産業経営担当</p>							

事業	方針等 区分	(方針1) 次代を担う有能な人材の確保と技術等の向上 (施策2) 技術者、経営者等の能力向上への支援		平成24年度		
	事業名	人材育成に係る各種講座、セミナー等の開催	予算額	産学交流センター指定管理料115,644千円及び清水産業・情報プラザ指定管理料83,491千円の一部		
			決算額	産学交流センター指定管理料115,644千円及び清水産業・情報プラザ指定管理料83,491千円の一部		
	事業概要	各産業支援施設において、中小企業の経営者・従業員の人材育成のため、大学や産業界で活躍する専門家の協力を得て、各種講座やセミナーを開催します。	取組状況 (9/1現在)	現況	(産学交流センター) ・大学等起業家育成事業：開催数1校(静岡県立農業高校) 開催数1回 受講者数30人(今年度7校予定) ・マーケティング支援講座 開催数6回 受講者数472人 ・マーケティング支援講座以外の講座 開催数2回 受講者数109人 (清水産業・情報プラザ) ・情報化講演会 開催数2回 受講者数57人 【今後の予定】 ・創業者を対象とした講演会 1回 ・創業支援講座 1回 ・情報化講演会 2回	
					補足事項	進捗率等
	3月31日現在	(開催回数)計37回 (受講者数)1,658人	61.7 36.8 (%)			
	成果目標	開催回数 60回/3年 受講者数 4,500人/3年		事業評価	事業結果	
	総合計画の位置付け (分野別) IV産業・経済	政策方針	IV産業・経済 1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化【再掲】 5 すぐれた能力と意欲ある人材の育成・支援		(産学交流センター) ・大学等起業家育成事業：開催数7校 (静岡県立農業高校、静岡市立商業高校、静岡県立科学技術高校、静岡デザイン専門学校、静岡福祉大学、静岡常葉学園大学、静岡県立大学) 開催数18回 受講者数(延べ)412人 ・マーケティング支援講座 開催数13回 受講者数987人 ・マーケティング支援講座以外の講座(開催数、受講者数は見込) 開催数2回 受講者数109人 (清水産業・情報プラザ) ・創業者を対象とした講演会 開催数1回 受講者数28人 ・創業支援講座 開催数1回 受講者数21人 ・情報化講演会 開催数4回 受講者数98人	
		大施	(2) 地域産業の活力強化【再掲】 (5) 地域を担う多様な人材の活用と育成			
		中施策	③経営基盤とマーケティング力の強化【再掲】 ①起業家精神の醸成と起業家の育成 ②経営者・経営幹部の意識改革による経営能力の向上			
産業振興プランの位置付け	基本方向		次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等			
	基本方針					
	基本施策					
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業担当		その他 (特記事項)			

事業 6	方針等 区分	(方針1)次代を担う有能な人材の確保と技術等の向上 (施策2)技術者、経営者等の能力向上への支援		平成24年度		
	事業名	若手後継者の技術習得支援 (伝統工芸技術保存講習会の開催)	予算額	1,809千円		
			決算額	1,730千円		
	事業概要	伝統工芸界の後継者育成と伝統工芸技術の保存伝承並びに技術訓練を図り、今後の商品開発に活用する目的で、漆器、蒔絵、拭漆、竹工芸、木工などの講習会を行います。	取組 状況 (9/1現在)	現況 (9/1現在)	■伝統工芸界の後継者育成と伝統工芸技術の保存伝承並びに技術訓練を図り、今後の商品開発に活用する目的で、漆器、蒔絵、拭漆、竹工芸、木工などの講習会を地元の若手後継者を対象に開催している。 ①漆器の部 事業名 伝統工芸技術保存講習会(漆器の部) 期 間 平成24年5月8日(火)～9月25日(火)までのうち20日間 受講生 蒔絵、漆器関連業界関係者8人(予定) ②拭漆の部 事業名 伝統工芸技術保存講習会(拭漆の部) 期 間 平成24年9月24日(月)～11月5日(月)でのうち7日間(予定) 受講生 木工関連業界関係者6人(予定) ③竹工芸の部 事業名 伝統工芸技術保存講習会(駿河竹工芸) 期 間 平成24年9月25日(火)～12月4日(火)までのうち11日間(予定) 受講生 竹業界後継者8人(予定) ④木工指物の部 事業名 伝統工芸技術保存講習会(木工指物の部) 期 間 平成24年9月6日(木)～12月13日(木)までのうち15日間(予定) 受講生 木工家具関連業界関係者9人(予定) ⑤蒔絵の部 事業名 伝統工芸技術保存講習会(蒔絵の部) 期 間 平成24年10月9日(火)～平成25年3月5日(火)までのうち20日間(予定) 受講生 蒔絵、漆器関連業界関係者9人(予定)	
					補足事項	進捗率
	成果目標	受講生 30人以上/年 (漆器、蒔絵、木工、竹工芸、拭漆の5部門に関する講座)		事業結果	■漆器、蒔絵、拭漆、竹工芸、木工指物などの各講習会を地元の若手後継者を対象に開催した。 ①漆器の部 事業名 伝統工芸技術保存講習会(漆器の部) 期 間 平成24年5月8日(火)～9月25日(火)までの内20日間 受講生 蒔絵、漆器関連業界関係者8人 ②拭漆の部 事業名 伝統工芸技術保存講習会(拭漆の部) 期 間 平成24年9月24日(月)～11月5日(月)での内7日間 受講生 木工関連業界関係者6人 ③竹工芸の部 事業名 伝統工芸技術保存講習会(駿河竹工芸) 期 間 平成24年9月25日(火)～12月7日(金)までの内11日間 受講生 竹業界後継者8人 ④木工指物の部 事業名 伝統工芸技術保存講習会(木工指物の部) 期 間 平成24年9月6日(木)～12月13日(木)までの内15日間 受講生 木工家具関連業界関係者9人 ⑤蒔絵の部 事業名 伝統工芸技術保存講習会(蒔絵の部) 期 間 平成24年10月9日(火)～平成25年3月12日(火)の内20日間 受講生 蒔絵、漆器関連業界関係者9人	
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針 IV産業・経済 5 すぐれた能力と意欲ある人材の育成・支援	大施策 (3)地域産業を支える知的経営資源の活用強化		中施策 ①研究開発力の強化	
	産業振興のプラン位置付け	基本方向 2 生活の質を高める産業の振興	基本方針 (1)マーケットを重視した事業展開の促進		基本施策 ④地域・伝統産業の近代化推進	
	所属部会	■技術者養成部会 部会員 ものづくり審議会委員3人 ■事務担当 地場産業担当		事業評価等 (事務担当記載項目) 所属部会からの意見及び指摘事項	◆講習会を開くだけでなく、講座で作品ができるのであれば、その作品の展示や販売など、学習成果の活用機会も同時に設定すれば受講者の励みになる。	
	事業担当課等	経済局商工部 地域産業課 地場産業担当			(事業担当記載事項) 改善点・目標の未達成理由等	■若手職人ネットワークの構築 伝統工芸技術保存のための後継者育成に加え、クラフトマンサポート制度で研修中の若手にも参加を呼びかけることで若手同志の中での技術指導やネットワーク構築に寄与できた。

事業 7	方針等 区分	(方針1)次代を担う有能な人材の確保と技術等の向上 (施策2)技術者、経営者等の能力向上への支援		平成24年度		
	事業名	伝統工芸技術秀士の指定及び顕彰の 推進・PR活動の促進		予算額	1,087 千円	
				決算額	702 千円	
	事業概要	伝統工芸技術保存と後継者の育成を図るため、本市の伝統産業に長年従事する技術者の中から特に優秀な技術を有し、その伝承と産業の発展に対し功績が顕著である者の指定及び顕彰を推進します。併せてPR活動を促進します。		取 組 状 況  現 況 (9/1現在)	●伝統工芸技術秀士の指定者の検討 平成21年度より昨年度まで対象者不足により指定、顕彰を見送ってきたが、今年度は指定、顕彰を行うことで決定。対象者となる人材を検討し事前調査を行った。 ●PR活動の実施 伝統工芸技術秀士の作品展示等によるPR活動を行った(各区役所、駿府匠宿、駿府楽市等)	
					補 足 事 項	進 捗 率
	3月31日 現在	(顕彰者) 1人 (展示会等) 7回	50.0 46.7 (%)			
	成果目標	平成26年度までに2名指定(現在48人) 展示会等 15回/3年		事 業 結 果	■伝統工芸技術秀士の顕彰 /伝統工芸技術秀士を1名(張下駄師 丸山宗孝氏)を顕彰。技術保存 伝承用映像を作成中。代表的作品を数点納品し顕彰式を実施予定 (3/12)	
	総合計画 の 位置付け (分野別)	政策 方針			■伝統工芸技術秀士のPR /首都圏でのPR(新宿駅西口での映像放映、台東区2k540での作品 展示及びパネル紹介等) /市内でのPR(各区役所フロアでの作品展示 計4回、駿府楽市での 常設展示、駿府匠宿での紹介映像通年上映 )	
		大 施 策				
		中 施 策				
産業振興 の プラン 位置付け	基本 方 向		事 業 評 価 等  (事務担当 記載項目)  所属部会 からの 意見及び 指摘事項	■伝統工芸技術秀士のPR事業の今後の展開 認知度向上・PRにかかる事業をどのように実施していくか、また開催する展示会を より効果的にするための展示方法やPR方法等の工夫をしていくことが重要である。		
	基本 方 針					
	基本 施 策					
所属部会	■PR促進部会 部会員 ものづくり審議会委員3人 ■事務担当 産業経営担当		事 業 担 当 (記載事項)  改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	◆匠宿での常設展示、市内各所での企画展示やイベントにおける実演のほか、首都 圏PR事業としての企画展示などを継続して実施していきます。今後、より一層、業界 の活性化に努めるよう、展示会・様々なPR方法について検討し、充実化を図ってま いります。		
事業 担当課等	経済局商工部 地域産業課 地場産業担当					

事業 8	方針等 区分	(方針1)次代を担う有能な人材の確保と技術等の向上 (施策2)技術者、経営者等の能力向上への支援		平成24年度		
	事業名	クラフトマンサポート事業の拡充		予算額	5,400千円	
				決算額	3,479千円	
	事業概要	伝統産業を担う人材の確保、後継者育成のため、新規就業促進のための短期現場実習、後継者育成を図る長期現場実習、ものづくりで生計を志す方への独立支援補助事業を拡充します。		取 組 状 況 (9/1現在)	(1) 地域産業現場実習短期支援者数 3名 (575千円)	
					(2) 地域産業現場実習長期支援者数 2名 (0千円) 報告期間(前期4/1~9/30 後期10/1~3/31)	
	補 足 事 項			進 捗 率	9月1日 現在	(短期支援) (長期支援) (独立支援) (%)
					3月31日 現在	(短期支援) 3人 (長期支援) 2人 (独立支援) 1人 50.0 22.2 (%) 33.3
	成果目標	短期支援6人/3年、長期支援9人/3年 独立支援3人/3年(各人数は延べ) ※長期支援は期間拡充		事 業 結 果	(1) 地域産業現場実習短期支援者数 3名 (575千円)	
	総合計画 の 位置付け (分野別)	政策 方針	IV産業・経済 5 すぐれた能力と意欲ある人材の 育成・支援		(2) 地域産業現場実習長期支援者数 2名 (2,400千円) 報告期間(前期4/1~9/30 後期10/1~3/31)	
		大 施 策	(1) 地域経済を担う多様な人材の活用 と育成		(3) 地域産業独立支援補助金交付者数 1名 (504千円) 報告期間(前期4/1~9/30 後期10/1~3/31)	
産業振興 のプラン 位置付け	中 施 策	④高度で専門的な知識・技能をもつ人材 の活用と育成	事 業 評 価 等  (事務担当 記載項目)  所属部会 からの 意見及び 指摘事項	■全般について ・サポート制度を受ける人物の選考の際に、「伝統工芸」の現状や今後、 問題などを説明し、それを理解し、その上で覚悟を持ってやっていける 人物を選考するようにしていきたい ・10年間の実績によるその人たちの感想、意見から今後への改善点を見 つけているのか？ ■長期支援制度について ・現状では長期が2年ですが、正直なところこれでは十分な技術習得は 難しい。 ■独立支援制度について ・新しい工場を借りるのはかなり費用がかかるので、共通の機械、集塵、 装置等は皆で使えるような工場団地みたいなものを作るべきではない か		
	基本 方針	4 チャレンジ精神に富む人材・企業の 輩出、育成		事 業 担 当 (記載事項)	クラフトマンサポート事業を就職支援と考える希望者が多く制度の説明と業界の現状 や将来の展望などを、詳しく説明すると厳しい現状を理解する受講者は多い。その ため、実際にやろうとすると二の足を踏む人は多々である。	
	基本 施策	(4)次代を担う人づくり  ②職業人としての意識・能力の涵養				
所属部会	■伝統工芸創造部会 部会員 ものづくり審議会委員5人 ■事務担当 地場産業担当		改善点 ・ 目標の 未達成 理由等			
事業 担当課等	経済局商工部 地域産業課 地場産業担当					



事業 9	方針等 区分	(方針1)次代を担う有能な人材の確保と技術等の向上 (施策2)技術者、経営者等の能力向上への支援		平成24年度			
	事業名	技能検定の受験及び技能五輪への 参加等に向けた支援の検討		予算額	0千円		
				決算額	0千円		
	事業概要	本市のものづくり産業の力量形成に向けて、 確かな技術や技能は必須条件の一つである ため、技能検定の受験及び技能五輪大会へ の参加等を目指す技術者や事業所等に対し て、費用助成等の支援を検討する。		取 組 状 況  (9/1現在)	◆9月1日現在、特に進捗なし ◆今後の予定 技能検定の受験、技能五輪への参加に向けた支援をより効果的、効率的に行うた め、先進都市等の情報を収集し、課題や問題点を整理するなど、以下のとおり検討 を進める予定です。 ①先進都市事例の情報収集 「支援策一覧、平成24年度予算額、事業の効果、事業の課題、今後の方針」等 ②情報収集した先進事例から見える課題整理 ③静岡市ものづくり産業に関する現状の整理 (または、先進都市での施策導入に際しての問題点と対応策の確認など) ④先進都市の事例、静岡市の現状から最適施策の検討 ⑤市内中小事業者の実態やニーズの把握に加え、静岡商工会議所製造業部会等 の中小事業者関連団体との連携模索		
					補 足 事 項	進 捗 率	9月1日 現在
	3月31日 現在	(支援制度)検討準備	0				
	成果目標	補助金等交付要綱などの支援制度の 整備		事 業 結 果	◆ものづくり産業振興技術者養成施策に関する調査を実施した ○政令指定都市 19市、金沢市、東京都台東区ほか6市区 ○調査内容 ①当事業と同内容又は相当する事業の有無と事業名 ②事業に係るホームページURL、③事業内容、 ④平成24年度予算額、⑤事業成果、⑥事業の課題、 ⑦教育機関との連携状況、⑧今後の方針 ○同事業あるいはそれに相当する事業を実施していた都市 6市 ○同事業又はそれに相当する事業は、下記の4パターンがあった。 ①技能検定、技能五輪に係る個人への費用助成 ②技能検定、技能五輪に係る企業・団体への費用助成 ③技能検定、技能五輪に係る企業・団体へ講師派遣等支援 ④技能検定、技能五輪に係る研修実施 ○当事業及び相当する事業を実施している北九州市、名古屋市 金沢市などの事業概要を把握できたので、今後、必要に応じて 詳細事項を照会していく予定である。 ◆静岡技能協会での事業実施内容等の把握に努め、情報交換を実施していくこと としている。(2～3月)		
	総合計画 の 位置付け (分野別)	政策 方針			事 業 評 価 等  (事務担当 記載項目)  所属部会 からの 意見及び 指摘事項	◆支援といった場合に、費用助成を中心に考えられているようですが、お金を出した だけで効果が出るわけではない。 ◆いろいろな技能の評価制度をまずは十分周知し、そういう評価を受けた方が良いと いう意識を多くの方に持ってもらえるような働きかけも大切である。 ◆技能向上のための(技能試験対策の)研修会を、市として開くのも、支援の一つにな る。	
		大 施 策					
		中 施 策					
産業振興 の プラン 位置付け	基本 方 向		事 業 評 価 等  (事業担当 記載事項)  改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	◆補助の要件、申請方法、交付先などについて、詳細に検討するにあたり、静岡市 における実態やニーズの把握を十分に実施する必要がある。 ◆教育機関や既存団体と情報共有、連携を強化する必要がある			
	基本 方 針						
	基本 施 策						
所属部会	■技術者養成部会 部会員 ものづくり審議会委員3人 ■事務担当 地場産業担当						
事業 担当課等	経済局商工部 地域産業課 地場産業担当						

事業 10	方針等 区分	(方針2)事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 (施策3)情報戦略、製品開発、販路開拓等への支援		平成24年度			
	事業名	若手グループの商品開発支援 (ものづくり相談・支援)		予算額	1,140 千円		
				決算額	928 千円		
	事業概要	市内地場産業の活性化のために、デザイン、技術、経営等に関する各種講演会や指導会のほか、実技指導も含めた技術講習会の開催や、専門家による新商品開発指導など、ものづくりに対する相談を行います。		取組 状況 (9/1現在)	●技術講習会の開催 ／エアブラシ実技講習会の実施(2回、参加者延16名) ●講演会の開催 ／乾漆講演会(1回)		
					補足 事項	進捗 率	9月1日 現在
	3月31日 現在	(技術講習会開催数) 2回 200 (%) (講習会等開催数) 9回 180 (%)					
	成果目標	技術講習会 1回/年 講習会等 5回/年 (新商品開発事業の推進等)		事業 結果	■技術講習会の開催 ／エアブラシ実技講習会の実施(2回、参加者延16名) ■講演会の開催 ／乾漆講演会(1回、参加者14名) マーケティング講演会(1回、参加者43名) 椅子技術講演会(1回、参加者26名) ■商品開発研究会の開催 ／漆器商品開発研究会(計5回) ■専門家派遣の実施 ／乾漆商品開発指導(1回、参加者12名)		
	総合計画 の 位置付け (分野別)	政策 方針	事業 評価 等		(事務担当 記載項目) 所属部会 からの 意見及び 指摘事項  (事業担当 記載事項) 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等		
		大 施策					
		中 施策					
産業振興 のプラン 位置付け	基本 方向	2 生活の質を高める産業の振興	■業界把握について ／現在存続している若手グループは把握できているか ■事業内容について ／どうしても残さなければならない技術の把握を確認し その講習会、講演会を開催した方はよい ／講習会等で技術向上・商品開発については研究されているようですが、 販路開拓に関する講習会が行われていないようです				
	基本 方針	(1)マーケットを重視した事業展開 の促進					
	基本 施策	④地域・伝統産業の近代化推進					
所属部会	■伝統工芸創造部会 部会員 ものづくり審議会委員5人 ■事務担当 地場産業担当		■専門家派遣による商品開発事業の実施 ／漆器の商品開発事業として専門家を継続的に派遣することで開発を 促進した ■マーケティング講演会の実施 ／技術、商品開発講習会・講演会に加えマーケティング講演会を開催 した				
事業 担当課等	経済局商工部 地域産業課 地場産業担当						